

ひと・ひと・ひと 十日市（会津若松市）

會津若松建設事務所 祭倶楽部「やってみっ会」活動体験記

Vol. 3



2010,01,10



身動きするのままならない。



大町通りを空撮。(ヤマグチビルより)
ところ狭しと露天が立ち並ぶ。



嬉しい驚き。若松商業高校も出店。



奥会津4町村で共同出店。地のものが並ぶ



奥会津4町村のブースは大盛況



大阪から三島町に移住した川合さん。
彼の作った大阪風お雑煮は白味噌仕立て。
美味しいし、体があったまります。



ま～、これほど沢山の人が繰り出しているとは、本当に驚きました。
会津の初市「十日市」は、4百年以上の歴史があり、葦名時代から伝わったと言われています。
そしてこの露天の多さ。(新聞では500店以上) おそらく県内No1の数ではないでしょうか。
神明通りはもちろんですが、大町通りにもバラエティーに富んだお店が並び、それでもお店は足らず、市役所前や中央通りの一部まで露天の軒先は連なります。

焼きそばや、焼き鳥、大判焼きからお好み焼き。いわゆる定番物の食事メニューから、縁起物の起き上がり小法師、かざぐるま、だるまなど、目移りするほど、昔ながらの商品が並びます。

そんな中であって、若松商業高校などの学校も出店していて、地域に溶け込んだ活動が心を温めてくれました。

そして最も驚いたのが、奥会津4町村の出店。東北電力前のスペースに、会津地鶏汁や山菜めし、漬け物から、栗まんじゅうまで、奥会津を代表する食がテーブルを飾り、押し寄せる来訪者の胃袋を満たします。そんな中、大阪から移住した川合さんが、元気のいい大阪弁で、大阪風お雑煮を振る舞っていました。川合さんの純朴な笑顔が印象的でした。

この資料に関する問い合わせ
企画調査課 唐橋 薫 電話 0242-29-5455